

あなたの グリップ大丈夫？



■グリップの交換時期は？

- ・グリップが削れている
- ・最近すべる
- ・コードがほつれてきている
(コードグリップの場合)
- ・ゴムが硬化してきている
- ・表面が油で光っている
- ・グリップが合わないので手が痛い 等…

・・・そんな方は是非工房まで。



1

古いグリップに切り込みを入れる

グリップをしっかり固定してグリップカーターでグリップに切り込みを入れます。切込みを入れる際は必ず根元からグリップエンドに向けて入れてください。切れ込みを入れる際、力を入れすぎるとシャフトに傷をつけてしまうので慎重に！！



2

古いグリップをはがす。

グリップに切り込みを入れたら根元側からゆっくりとはいでいく。ここではテープもうまくグリップとはげるとよ取るのがコツ！！



3

新しいテープを巻く

新しいテープを巻く際、ご自分のグリップの根元がシャフトのどの位置に来るのか大体把握しましょう。無駄なテープがなくなります。

4

グリップを入れる①

クラブ側の両面テープ全体に溶液を吹きかけます。この際、吹きかけていない箇所がないようにしましょう。吹きかけ忘れの箇所があるとうまくグリップが入らない場合があります。



5

グリップを入れる②

新しいグリップを一気にシャフトに挿入します。挿入の際、後で簡単にスクエアに直せるようにある程度まっすぐに入れます。目安はシャフトのリーディングエッジとグリップのパーティングラインをあわせるとスクエアに入ります。

これでバッチリ！パワーが伝わります！！